

## 令和4年度第2回生物多様性地域戦略部会 議事（要旨）

令和4年7月15日（金）  
午後6時00分から午後7時30分  
府中市役所北庁舎3階第1会議室

### 出席委員（8名）

対面 吉川正人委員、金本敦志委員、山田義夫委員、栗原昭良委員、  
吉武考三郎委員

リモート 金子弥生委員（部会長）、江島大介委員、青山一彦委員

### 欠席委員（2名）

三浦健仁委員、高野茂久委員

### 事務局

環境政策課：田中課長、田口副主幹、扇山課長補佐、谷口主任

自然保護係：白木係長、池田、中澤

### 傍聴者

2名

### 議題

1 開会

2 報告

令和4年度第1回生物多様性地域戦略部会のご意見一覧について

3 議題

第3次府中市環境基本計画（素案）第4章基本方針2について

4 その他

5 閉会

### 配布資料

資料1 令和4年度第1回生物多様性地域戦略部会のご意見一覧について

資料2 第3次府中市環境基本計画（素案）（基本方針2抜粋版）

資料3 【基本方針2重点プロジェクト案】武蔵台緑地生物多様性保全プロジェクト

## 会議録（要旨）

### 【事務局】

定刻になりましたので、ただいまから令和4年度府中市環境審議会第2回生物多様性地域戦略部会を開催させていただきます。

皆様、本日は大変お忙しいところ、また、足元の悪い中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議につきましても、会場とウェブ会議システムを併用しての開催とさせていただきます。ウェブ会議でご参加いただく方へ改めてのお願いとはなりますが、注意事項をご説明いたします。

1点目に、音声の混線を避けるため、発言されるときを除き、音声についてはミュート状態にしてください。

2点目に、ビデオについては、通信環境の確保のためオフとしてください。

3点目に、発言をする際は、ミュートボタンをオフにし、氏名を名乗っていただき、部会長または事務局より指名がございましたら、その後ご発言ください。

また、ウェブからご参加されている委員の方に発言者が分かるように、マイクをお渡しする前に事務局から「委員です」等とご案内をさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、ご協力をよろしくお願いいたします。

会議に入ります前に、本日お配りさせていただきました資料の確認をさせていただきます。

### （配布資料の説明）

続きまして、欠席者の報告をさせていただきます。本日の会議につきましては、三浦委員、高野委員のお二方より、やむを得ない事情で欠席とのご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

なお、本日の会議は出席委員数が過半数に達していることから、有効に成立することをご報告いたします。

ここからの議事は金子部会長、よろしくお願いいたします。

### 【部会長】

これから先は私が議事を進行させていただきます。審議に入る前に委員の皆様申し上げます。新型コロナウイルス感染症の再拡大防止のため、発言は簡潔明瞭を心掛け、会議に要する時間の短縮にご協力くださいますようお願いいたします。

初めに、傍聴について委員の皆様にお諮りします。府中市情報公開条例に基づき、原則公開となっています。本日、傍聴人はありますか。

### 【事務局】

本日の傍聴人は2名です。

### 【部会長】

入室を許可してよろしいですか。

### （異議の声なし）

【部会長】

入室許可といたします。

【事務局】

では、ご案内いたします。少々お待ちください。

(傍聴人入室)

【事務局】

部会長、傍聴人がご入室されました。

【部会長】

それでは、次第に沿いまして進めます。

次第「2 報告」、令和4年度第1回生物多様性地域戦略部会のご意見一覧について、事務局から報告をお願いします。

(資料1を説明)

【部会長】

資料1について何かご意見等はございますか。事務局からポイントになる部分などのご説明はありますでしょうか。

【事務局】

ご意見の一覧につきましては、前回も今回と同じ議題でご議論いただきましたので、ご指摘部分については次の議題で修正点として反映している部分になります。次の議題で詳細を説明させていただければと思っております。

【部会長】

表を見たところ、すべての事項において「検討する」となっています。おそらく次のところで、どのように検討したのかということも含めて説明がなされるかと思しますので、特にご意見がなければ、次の説明を聞きながら全体を振り返りたいと思います。また戻るかもしれませんが、次の議題に進みたいと思います。

では、次第「3 議題」、第3次府中市環境基本計画(素案)第4章基本方針2について、事務局から説明をお願いします。

(資料2を説明)(資料3を説明)

【部会長】

基本方針2の素案の修正案について説明がありました。長編になりますのでパートを分けて議論を行いたいと思います。資料の冒頭から24ページ(4)「目指すべき姿」までと、資料編の二つに分けたいと思います。

まず前半の24ページまで、委員の皆様からご意見がありましたらお願いします。

【委員】

細かいところからですが、6ページの「生き物同士のつながり」の図で、下のほうにキノコの絵が描いてあって「植物による分解」と書いてありますが、「植物」ではなくて「菌類」にしていただけませんか。キノコは今「植物」と言わないです。「菌類」にさせていただいて、右端の「菌糸類」も「菌類」にしてください。菌糸というのは、菌のキノコをつくっていないときの姿のことをいいます。生物の分類群の名前ではないので「菌類」にしてください。

あと「芋虫」は若干違和感があります。ほかは皆きちんと生物種の名前なので、「ガの幼虫」等、もう少し具体的にさせていただいたほうがいいと思います。

【委員】

2点ほど意見があります。1点目は8ページの各生態系サービスのイラストのコメントです。細かいところで恐縮ですが、一番上の「供給サービス」のところの「食べ物の供給」と「木材の供給」の文章が気になりました。両方とも「世界から」という視点で書かれているようですが、当然、市内産の農作物もありますし、国内からも供給サービスを受けています。その辺が分かるようなニュアンスで修正していただけたらいいのではないかと。

もう1点は、23ページの施策体系のタイトルです。基本施策の二つ目、「府中市固有の生態系と生息環境の保護と回復」のは修正をしていただいてこのような表現になっていますが、緑環境と生態系が並列で書かれていることが気になりました。樹林地や森林地帯は一つの生態系と考えることもございますので、表現的にどうなのか。専門家の委員にもご意見をいただけたらと思います。

【部会長】

23ページの赤い字の「樹林地などの緑環境と生態系の保全と利用」という表現について、委員、いかがでしょうか。

【委員】

もとはどういう表現ですか。

【事務局】

最初は、「緑地や崖線などの緑環境と生態系の保全と利用」というタイトルでございました。

【委員】

私も、「生態系の保全と利用」というのは指すところの内容が分かりにくいので、「生態系」はなくてもいいのではないかと考えますが、いかがでしょうか。委員のご意見はそういうことではないですか。

【委員】

多分同じことを言われているのかなと思ったので、今、委員がおっしゃったとおり、どちらかを削ってもいいのではないかと思います。

【部会長】

「生態系」は削ったほうが分かりやすいということですので、そのようにお願いいたします。

【事務局】

かしこまりました。そのように対応したいと思います。

【委員】

今の基準に従うと、その下の も「多摩川周辺や用水などの水辺環境と生態系の保全と利用」となっているので、 も「生態系」を取ってもよろしいのではないのでしょうか。

【部会長】

そうですね、取っても問題がないので、そのようにお願いいたします。

【事務局】

承知いたしました。対応いたします。

【委員】

前から言葉尻ばかり言っているところがありますが、23ページ、基本施策の三つ目、「生物多様性保全の担い手が生まれる仕組みづくりの推進」の、「主体間のつながりの創出」という言葉は若干硬いというか。「主体間」というのは前から私自身は違和感がありました。「つながりの創出」とは普通言わないでしょから、あまり思い浮かびませんが、例えば「連携の〇〇」等はどうかかなという気がしました。

あと聞きたかったのですが、今さらかもしれませんが、24ページ以降の「施策の展開」で、「市の取組」「市民・市民団体の取組」「事業者の取組」ということで、リストアップされています。

「市の取組」の二つ目の「・」に「市内の生物多様性データベースとして広く公開」と書いていますが、あとでどこまでやったか検証するのですか。23ページの「成果指標」は、せいぜいこの程度なので、アンケートで検証するのかなと思いますが、「市の取組」は様々なところに多数の記述がありますので、こんな感じでやりましたという反省などをするのかなもしれませんが、あとでどんなふうにチェックするのか知りたいと思いました。

また、「事業者の取組」は、例えば25ページを読むと、「事業所内の云々で連携に努めます」、「事業所内における云々で保全に努めます」と書いてあります。それぞれの事業者は「こういうことをします」と宣言したのですか。それとも、市としては「やらせませす」ということですか。多分「やらせませす」とは書けないと思いますが。

「市民・市民団体の取組」は、「努めます」「協力します」となっています。書きぶりで申し訳ないですが、市としてではなくて、市民・市民団体が「努めます」というのはどのように書いたらいいのか。「努めます」だと、どの市民団体が宣言したのだ、と。細かい、つまらないことを言っているかもしれませんが、事業所なら行政として「させる」という感じもあるのかなという気もしますが、「努めさせませす」ではないですよ。

【部会長】

市民がかかわる部分の表現でしょうか。

委員、お願いします。

【事務局】

先に事務局から委員にお答えしてもよろしいでしょうか。委員、恐れ入ります。お待ちください。

今ご質問を3点ほどいただいたと思います。まず、「主体間のつながりの創出」という表現でございますが、確かにタイトルだけ拾うと違和感があるかなとは思っておりますが、具体的な個々の取組の中を見ていただくと、なぜ「各主体」でつながりが生まれることが持続的や効果的という効果を生むのかということところが伝わるのかなというかたちで記載をしているつもりでおります。

個々の取組をまとめて「個別施策」というところでタイトル化するとき、だいぶこねてしまったようなタイトルにはなってしまいましたが、まとめて表現すると、「主体間のつながりの創出」というかたちになるかなという経緯でタイトルとさせていただきます。確かに、もう少しすっと入るものが用意できればよかったのですが、考えが及びませんでしたので、さらに検討してまいります。

二つ目の個々の取組のいわゆる点検をどうしていくかというところですが、全体的な取組、施策の展開で記載した取組を進めていった結果の成果は、やはり指標で評価をしていきたいと思っております。もしくは、取組指標は、逆に言えば個々の取組の結果を示すようなところもありますので、そういったものも示しながらどの程度取り組めたかというところを見せていきたいなと思っております。

ただ、ご指摘のとおり、当然すべての取組を評価するような指標にはなっておりませんので、今後、環境基本計画というかたちで計画化されていったあとに、環境審議会のほうで進捗のチェック機能が働いていくと思っております。すべての取組について一つ一つ、やったかやっていないかチェックするのは確かに難しいとは思いますが、ぜひ環境審議会の中で、今回記載した取組についてのチェック機能を働かせてチェックをしていただきたいと思いますと思っております。記載した以上は責任を持って実施に取り組みでまいりますので、今後も続いていく審議会の審議の中で各委員の皆様にご確認をしていただければと思っております。

三つ目の、事業者が「に努めます」というところですが、事業者に限らず、我々行政としては、各主体に対する期待を込めた表現になるのかなと思っております。「努めます」という言い方は、各主体自身が言っているような言い方だと思いますが、そう宣言させたということではなくて、我々のほうで、そう宣言していただけるような姿勢をお持ちいただきたいという期待を込めて示させていただきました。

【部会長】

では、委員お願いします。

【委員】

今まさに事務局からご説明があったところでございますが、先ほど委員が最後にご質問された事業者の取組や行政以外の取組については、手前味噌ですが、私も東京都でも同じように、皆さんに期待する取組ということで書かせていただいております。

というのは、行政だけでは目標なり生物多様性の保全を進めることが難しいということは重々承知なので、皆さんと一緒にやりましょうよというような期待を込めてという、事

務局と同じような回答になりまして、今つくっているところです。

できればどこかに注意書きでも構わないですし、本文の中に入れても構わないのですが、要は市として各主体に期待する取組です、というのが分かるように記載してはどうかと思います。

#### 【部会長】

文末の「努めます」などは、もう少し言い方を工夫しつつ、表現を分かりやすくすることでよろしいでしょうか。

#### 【事務局】

ご指摘はごもっともかなと思います。市の取組は市がこれをやりますということですが、ご期待を込めて書いた部分を「 の取組」と書きますと、各主体がやるようなかたちに見えかねないところもあります。ほかの基本方針にも、全体にかかわってくることで、事務局全体で検討させていただければと思います。ご意見は大変参考になりました。ありがとうございます。

#### 【委員】

24ページまでで何点か指摘できればと思います。先ほどの委員のご指摘もあった6ページの図ですが、「水鳥・渡り鳥」のところに唐突にバッタが交じっているのも、バッタは右側の「草地性昆虫類」に描くか、消してしまうか、少し工夫できればと思います。

あと、12ページの「外来生物の侵入」のところですが、文章に書いてある種類の名称と、下の写真の名称が一致していない。読んでいる方の目から見たら、写真で出ているガビチョウとアカボシゴマダラは何だとならないか若干不安がありますので、文章に書き加えるか、下の写真を入れ替えるかというところが必要になってくるかなと思います。

16ページの「エコロジカル・ネットワーク」のイラストは線状につながっているようにしか見えないので、面的に、網の目状につながっている様子が分かるイラストにできたら一番いいのではないかと。私のほうでも参考になるものを探してみますので、検討いただければと思います。

あと、19ページの写真のキャプションが「府中市浅間山公園」となっているので府中市の公園のように見えてしまいます。委員もいらっしゃるので、「都立浅間山公園」等に直しておいたほうがいいかなと思います。

最後に、「東京都レッドリスト掲載種の市内確認種数」が成果指標に入るのは大変いいのですが、悩ましいところがありまして、東京都レッドリスト掲載種は2013～2019で一回見直しを図っています。2032年までの目標としたときに、途中で見直しになったらどうするのだろうかということもあつたりします。レッドリスト掲載種というのは絶滅危惧種ですから、これが増えたらいい、というところは若干疑問としては残るかなと思います。府中市内で増やすことによってレッドリストから外すことができたり、府中市内でどんどん減ってしまったがゆえに、新たにレッドリストに絶滅危惧種として認定されてしまった種類が増えてきたり。レッドリストの扱いは若干気になるころではあります。

同じ23ページ「府中市固有の生態系と生息環境の保護と回復」の にある「生き物空間」という表現が、日本語としてふさわしいのかどうか若干引っ掛かりました。正直に言って「生息空間」のほうがいいのかなという気がしました。

【部会長】

今ご指摘いただいた個々の表現について、ほかの委員の皆様から何かご提案等ありますか。

【委員】

今ご指摘があった成果指標の「レッドリスト掲載種」については、増えたほうがいいということではなくて、現時点でレッドリストに掲載されている種が2030年にも絶滅しないで残っているということをもって目標を達成したというふうに評価するという意味ですよね。それは誤解のない書き方にされたらいいと思います。

【部会長】

事務局からいかがでしょうか。

【事務局】

今、委員がご説明いただいたとおりでございます。そもそも我々は、調査の結果、レッドリスト掲載種の確認数が増えたというのは難しいと思っているところがあります。前回の部会でご提案いただいた、既に確認されているレッドリスト掲載種について、引き続き何年経っても確認され続けているというところが非常に現実的な調査の仕方かなと認識しております。成果指標の書き方は、あまり長い文章になってしまっても、というところもありましたが、何を我々が追っているのか伝わるように書かなければいけないと思った次第です。指定の種を追跡していくということですが、どうなったらいいのかというところは説明がないと分からないかなと今認識しましたので、工夫を加えたいと思います。我々の指標の認識は今の委員のご説明のとおりでございます。

また、委員から多数ご指摘をいただき大変参考になりました。そのとおり修正等対応してまいりたいと思います。「生き物空間」も、もう一度検討させていただければと思います。「生き物空間」という言葉は別のところで見かけたことがありまして、「生き物が生息できるような環境」というところで使っていた事例を見たことがあって採用したのですが、再度検討したいと思います。大変参考になりました。ありがとうございます。

【部会長】

では、次の部会のときにまたブラッシュアップの材料を用意していただくということで、よろしくをお願いします。

このパートについてはそろそろ最後にしたいと思いますが、今のパートについて、これだけはもう一回聞いておきたい等ありますか。では、いったん終わって、次のパートに行きたいと思います。

次は24ページ以降になります。事務局さん、最後までにするか、それとも武蔵台緑地も一緒にしてしまうか、どちらですか。

【事務局】

事務局としては、施策の部分から重点プロジェクトまでは一体ということでもよろしいのではないかと考えていますが、個別に分けてご議論いただいても結構です。

【部会長】

では、武蔵台緑地は次回にもう少し議論しますが、武蔵台緑地まで含めてご意見をいただきたいと思いますので、委員の皆様からよろしくお願いします。今度は24ページ以降と資料3の武蔵台緑地の部分です。

【事務局】

資料が初見になってしまいましたので、どうぞじっくりと確認をいただいてからご質問等いただければと思います。恐れ入ります。

【部会長】

私から質問ですが、武蔵台緑地という場所を重点プロジェクトとして選ぶというのは決定ですか。選んだ理由を今日聞けたらと思います。

【事務局】

これで絶対動かさないということでは全くございません。武蔵台緑地はもともと力を入れてきた部分でございます。取組をまとめて総合的に行ういいモデルになるかなと思って事務局で採用したものですので、あくまでご提案でございます。

選んだ理由もご質問いただいたと思います。今お話しした中でもお伝えしたかと思いますが、今実際に自然環境として保全を進めていかなければいけない課題が明確になっているエリアでございます。そういった意味で、二つ目の基本施策に非常にかかわりが深いと考えました。

我々は今後、自然公園というかたちで整備保全をしていく中で、公園としても整えていきたいと公園管理部門ともかねがね話しているところでございまして、普及啓発の拠点になるような、自然公園として整備された公園を市立の公園で再現できればいいなという思いを持っています。そういった意味で普及啓発にも非常にかかわりが深い。

最後の基本施策に関しましては、今まであまり武蔵台公園等々で取り組んできたという実績はないのですが、人のつながりが生まれて、保全ということに関する担い手が武蔵台緑地をきっかけに生まれていくということも実現できれば、基本施策についても武蔵台緑地とのつながりをもって取り組めるのではないかとということで、基本方針を具現化するという意味では、いいフィールドだと認識したところがございます。今回、武蔵台緑地の保全プロジェクトを重点プロジェクトとして提案させていただきました。

【部会長】

ありがとうございます。場所はいったん設定するとなかなか動かせないと思うので、ほかの委員の皆様からも、ご存じでしたら武蔵台緑地のメリット、またはほかにもこういうところもいいのではないかというようなご意見等ありましたらお願いします。

【委員】

今日、示されたレイアウトなどはこの大きさでしょうか。個々に見ますと、写真が小さく、写真の説明もかなり小さくて読みづらい感じがします。実際にできたときには、これより少し大きくなるのですね。色の着いているところのコメントが、ところどころ読みづらいので、工夫をされたらいいかなと思います。

**【事務局】**

委員、ありがとうございます。見やすさという部分は、我々も課題だと思っております。決して見やすい体裁になっているとは認識してないところがございまして、これはこのまま本番の仕様にしていくつもりはございません。どう考えても字が小さくて見えない図等々ございまして、現状でお示ししてしまっているのは大変申し訳ないところがございます。内容はよくても読みにくかったら誰にも読んでもらえないということになってきます。重々課題だと認識していますので、本番の仕様までには必ずきちんと修正してまいりたいと思います。ありがとうございます。

**【部会長】**

ご説明ありがとうございました。

**【委員】**

興味本位の質問で申し訳ないですが、最初の説明で聞きもらしたかもしれないのですが、重点プロジェクトは、基本方針1から5それぞれにつくることになっているのですか。

**【事務局】**

重点プロジェクトは、今回は基本方針全体で3点お示ししています。そのうちの2点が基本方針1で設定いたしまして、1点が基本方針2で設定いたします。基本方針3、4、5につきましては、重点プロジェクトは特に設けることはないというところでございます。

**【委員】**

重点プロジェクトというのは、基本方針の中で上から下までというか、上流から下流までというか、一気通貫で様々なことができそうなところを設定するということだと思いますが、予算をつけるというのが大きな目標になるわけですか。例えば、何百万か何千万か知りませんが、予算をつけてこのプロジェクトをやっていくのだというものですか。

**【事務局】**

必ずしも、予算を取って実施したいからその事業を重点プロジェクトとして取り上げるということではございません。あくまで、数ある取組の中で、今の市の現状や課題認識の中で特に力を入れようという認識を示していくという意味で、重点プロジェクトとして整理しているというところですので、必ずしも予算的なところではないと考えております。もちろん予算がつけばありがたいことではございます。

**【部会長】**

重点プロジェクトの対象は、今後もう少し増えるということですか。それとも今回の出ているところで決定したいという感じですか。

**【事務局】**

重点プロジェクト自体が増えるのか、ということではございますか。

【部会長】

はい。

【事務局】

重点プロジェクト自体は、今回の環境基本計画では設定した3点でございます。

【部会長】

その3点の範囲でという意味ですね。

【事務局】

はい、そうです。重点プロジェクトはこの3点で計画期間中取り組んでいくというところになります。

【部会長】

分かりました。次回もお話をすると思いますが、重点プロジェクトについて今日話したら、どのあたりを話せばいいですか。

【事務局】

基本的には、今回は概要をお示しいたしました。地球温暖化対策地域推進計画のほうでは本編に載せるかたちでお示しをしているぐらいつくり込んだ部分がありますが、今回は重点プロジェクトとして盛り込んでいく内容のエッセンスをお示しただけで、実際に絵にしていくのは次回の部会でと考えております。次回部会までのつくり込みに参考にさせていただきご意見もしくはご指摘をいただければというのが今回のお願いでございますので、お示したプロジェクトについて忌憚なく、足りない、加えたほうがいい、そもそもテーマ自体がということも含めてご意見をいただければと思います。

【部会長】

分かりました。重点プロジェクトに関しては、例えば目標の1、2、3、取組項目でこれは足りない等、そのあたりについてということですかね。

【委員】

武蔵台緑地は、土地所有者は東京都と伺っています。都立多摩総合医療センターの敷地内にもけっこう広い樹林があります。そこと一体的な管理ができるといいのではないかと思います。そういうことはお考えになっていないのですか。

【事務局】

ありがとうございます。資料3の2ページ目の「参画を想定する主な主体」の中の「関連機関等」でお示しをしています。おっしゃるとおり、都立多摩総合医療センターの敷地は森として管理はしてないような気がしますが、あそこも一体的に保全が展開できるのが望ましいとかねがね思っておりますので、ぜひ参画いただきたいというところでございます。

【委員】

失礼しました。見落としておりました。

重点プロジェクトの場所としては、武蔵台緑地はいいのではないかと思います。というのは、資料にも書いてありましたが、環境省が30 by 30（サーティ・バイ・サーティ）をやっていましたよね。国土の30%（以上）を保護区にするという取組の中で自然共生サイトというのが出てきているのですが、自然共生サイトの制度をつくるためのモデル調査地区のようなものに、国分寺崖線に連なる緑地が候補に挙がっているようなので、そのような国の施策との連携も可能になったり、様々な情報をもらえたりというような利点もあろうかと思いますので、重点的な取組の場所としてはふさわしいのではないかと思います。

【委員】

私も、武蔵台緑地について、府中市内に限らず府中市外、地域一体を結び付けていくつながらということも含めて、武蔵台というポイントは非常にいいかなと思います。

プロジェクトの中身ではなくて目標の部分ですが、目標はどこから引張ってきたのですか。今回用につくった目標ですか。

【事務局】

今回用です。

【委員】

であれば、資料2の23ページの施策体系は、普及啓発、生態系の保全、担い手という並びになっていて、取組のほうも同様です。それに対して、目標は生態系の保全が一番上に来ていて、2番目に普及啓発が来ていて、3番目に担い手なので、そろえたほうがいいかなと感じました。そこが1点。

あと目標で「生態系の保護と回復」とありますが、下の文章で、「武蔵台緑地植生保全ガイドライン」に基づく植生保全とあるので、植生だけでなく、動物も含めた生態系全体を保全する目標としてほしいと感じた次第です。

【部会長】

事務局からご説明はありますか。

【事務局】

順序の部分ですが、ご意見はごもっともだと思います。我々のほうの基本施策のラインナップと順番が異なっていますが、現状既に取り組み始めているということでの生態系の保護・回復をまずやっていって、だいたいの低下をさせてしまっている緑地というところがあるかと思いますので、回復をある程度図ったうえでの普及啓発拠点としての利用につなげていくという順番的な部分もあるのかなという考えがありまして、今回、から順番にさせていただきました。ただ、基本施策の順序との統一というところも、書き方としてはあると思いますので、検討させていただければと思っております。

植生保全の部分はそのとおりでして、現状、様々な取組をしたいところではあります。が、すべてには手が出せない中で、植生保全のガイドラインを吉川先生のほうでおつくりいただいて、我々はまずは植生のところから生態系に対してアプローチしていこうとして

おりますので、まず代表的な取組として書かせていただきましたが、決してその他の生物は着目していないということではございません。

武蔵台緑地には非常に多様な生態系がございます。昆虫類等も豊富ですし、野鳥類も観察されています。そのあたりも含めたトータルな生態系というところに注目をしておりますので保全活動をしていきたい。

ただ、生息環境のベースとなる部分、植生というところは非常に大事なのかなとも思っておりますので、プライオリティという意味では植生保全に重きを置いているのは間違いないですが、それ以外すべての生き物に対して、武蔵台緑地の生態系そのものに対して、我々はアプローチしていきたいと認識しているところでございます。

#### 【部会長】

府中市は、農工大の教授の方々が長年取り組まれているデータもあって、生かせると思いますので、私も賛成です。

ほかにご意見はありますか。

#### 【委員】

素朴な質問です。緑地保全、生物多様性という観点からすると、武蔵野台地のところと同じくらい緑地があるのではないかと思われる西府近辺、崖線のところ、国立からずっとつながっていますが、その辺の保全は武蔵台緑地の保全と同じような位置付けになっているのですか。

#### 【事務局】

ありがとうございます。西府の崖線は我々も市内で貴重な緑地であるという認識を非常に持っております。環境政策課で直接アプローチしたことはあまりありませんが、地域では市民団体の方が活発に保全活動をされていることを認識しております。

市の関わりというところでは、西府崖線は公園緑地課が所管しております。最近の話ですが、公園緑地課で植生、生態系に着目した緑地管理を導入したところでございます。地域の団体の皆様とも連携して取り組んでいると聞いております。こちらの地域につきましても貴重な緑地であるという認識のもとに、官民合わせて取組がされていると認識しております。

#### 【部会長】

生態系ネットワークの候補地の中には間違いなく入ってくる場所なのではないかと思っています。

重点プロジェクトについては、次の部会のときに具体的な話も含めてもう一度詳しくお話をすることによってよろしくをお願いします。

そろそろ7時半ですが、コロナが急拡大しているという状況もありますので、あまり長くなつてはと思います。そろそろ終了にしたいと思いますが、終了する前に、ここだけはこのようがありましたら委員の皆様からお願いします。

**【事務局】**

皆様、本日は資料が初見になってしまいました。読み込むことでご質問等が出てくると  
思います。

今、部会長からご案内がありましたとおり、現在の情勢等鑑みましてコンパクトな会議  
というところも必要かなというところでございます。会議は間もなく終了となると思いま  
すが、随時ご意見を事務局にお寄せいただければと思います。次の部会の中で、中間にい  
ただいたご意見を皆様に紹介させていただいたうえで、また議論していきたいと考えてお  
ります。少ない時間、また、資料の読み込みの時間もない中で今回の会議を進めてしま  
いましたが、随時承りますのでご意見を伺えればと思います。よろしくお願いいたします。

**【部会長】**

時間が短くなってしまっているかもしれませんが、今日の意見出しはここまでとしたい  
と思います。

それでは、これにて本日の審議会は終了いたします。事務局から連絡事項等があります  
か。

**【事務局】**

次回の環境審議会は7月29日金曜日に環境審議会本会の開催を予定しております。

また、次回の生物多様性地域戦略部会につきましては8月中の開催となりますが、日程  
につきましては現在調整中ですので、決定次第お知らせいたします。

続いて、令和4年度第1回生物多様性地域戦略部会の議事録についてでございますが、申  
し訳ございませんが、本部会前に準備が間に合いませんでしたので、後日皆様にお送りさ  
せていただきます。ご確認いただきまして、ご指摘事項等ございましたら、ご連絡いただ  
いたうえで修正を実施しまして、今後公開したいと考えておりますので、ご承知おきく  
ださいようお願いいたします。

**【部会長】**

今後の予定についてお話ししていただきました。今回の資料についてご質問、ご意見等  
ありましたら事務局にご送付をよろしくお願いいたします。

それでは、これにて本日の審議会は終了といたします。どうもありがとうございました。

終了